の経営相談やまちづくりに取り組

子の地域経済団体として、中小企業

3年から「コニカミノルタサイエン

を導入。直径21mのプラネタリウム スドーム」というネーミングライツ

がら科学の面白さを学べる文化施 ドームなど、見て、触れて、遊びな

(はちとび28号参照)

残している。

とび8号参照)

を修理した以外、当時のままの姿を 年ころ、はげ落ちていた2階の土壁 内唯一の店蔵。1974 (昭和49) の災害をくぐり抜け、現在も残る市 王子大火、関東大震災、戦災と数々 1879 (明治12) 年の建築で、

1894(明治27)年に設立。八王

(平成元) 年開館。201

る。全国で41番目(関東で6番目) 種部会や委員会などを組織してい む。現在は約3900社の会員が各

に古い、歴史ある商工会議所。

03 (平成15) 年に再建された。 八王子空襲で4つに折れたが、20 での甲州街道の3か所(新宿、 足袋職人が高尾山に銅製五重塔を奉 小名路)に建てた道標の1つ。 、その記念に江戸から高尾山ま

1811(文化8)年に清八という



心追分道標

①了法寺

21) 年、とろ美制作のアニメ風萌え 稲荷などもある。2009 (平成 れ、他にお岩稲荷、文護稲荷、笠間 福神の一つで、新吾弁財天が祀ら 1489 (延徳元) 年に啓運日澄上 人が隠居寺として開いた。八王子七

看板を入り口に設置した。

⑫興岳寺



立された顕彰碑がある。 境内には1966 (昭和4) 年に建 名と家来2名の名が刻まれていた。 の1人で、 1592 (文禄元) 年創建。千人頭 守った石坂弥次右衛門の墓がある。 墓の左右の灯籠と水盤に千人同心45 幕末の戦火から日光を

18日吉八王子神社



940 (天慶3) 年創立。 1595 たもの。境内には江戸時代に浅川で 由井領の総鎮守とした。現在の拝殿 (文禄4) 年に八王子権現を勧請し、 は1902(明治35)年に改築され

を伝える「あゆ塚」がある。 獲れた鮎を幕府に献上していたこと

> いた石見土手の一部がある。(はち 本堂裏手北側には、大久保長安が築

隊事績碑や松本斗機蔵の墓がある。 に草庵を起こしたのが始まり。千人 1593 (文禄2) 年、

价州良

(かいしゅうりょうてん)が現在地

四宗格院



6八王子商工会議所



⑤コニカミノルタサイエンスドーム



7加島屋



まざまな逸品を揃えている。(はち 営ショップのベネックがあり、マル 渋谷定七が就いて設立。1階には直 はじめ、スカーフ、ストールなどさ 1899 (明治32) 年、 ベリーシティブランドのネクタイを 初代組長に



屋敷の土地であったことを伝える碑 伝えられている。かつてこの一帯が 構え、新八王子宿の建設などを行っ は八王子城落城後、この地に陣屋を 関東十八代官頭の大久保石見守長安 た。当時の屋敷内に神社があったと (はちとぴ21号参照)



❷産千代稲荷神社

10西八王子駅



年に南口が開設した。 の増加によって、1977(昭和 の駅舎で開業。昭和30年代になって るために現在の橋上駅舎になり、翌 52) 年に駅と付随する施設を改良す から駅周辺の開発が進んだ。利用客 1939 (昭和14) 年、 北口側のみ

仍八王子市立中央図書館



閲覧室、地下に展示室などがある。 民の執筆した本も多数所蔵。2階に する約5万点の郷土資料のほか、市 数を誇る。八王子や多摩、東京に関 最も広い図書館で、市内最多の蔵書 (はちとぴ29号参照 1985 (昭和6) 年開館。市内で

王子千人同心

た軍事集団でしたが、 て、甲斐の国境を守ってい に甲斐国武田氏の家来とし 彼らはもともと戦国時代

になり、この家臣たちを中心に250名 北条氏滅亡後、家康が関東を治めること 氏滅亡後に徳川家康の家臣となります。 ほどが八王子城下の治安維持にあたりま その後、 今の千人町を中心に配置

置された武士団のことで ます。千人同心とは、 敷があったことを偲んでい れ、この碑の周辺一帯に千 は千人同心の歴史が刻ま に建つ千人同心屋敷跡碑に の西の守りを目的として設 人頭が幕府から拝領した屋

され、 頭と呼ばれる旗本が10名いて、 ばれるようになりました。組織には千 いました。 の千人頭が100人の同心を引き連れて 0 000人となり、 (慶長5)年、 同心は500名に。さらに160 関ヶ原の合戦に備えて 八王子千人同心と呼 それぞれ

加するなど、軍事的な役割を果たし 当初は、 関ヶ原の戦いや大坂の陣にも

参

抵抗せずに明け渡し、 れるようになりました。 康を祀る日光東照宮の勤番を命じら と、1652 (慶安5) 年に徳川家 にいた千人頭の石坂弥次右衛門らが に官軍が日光を攻めた際には、 した。幕末期、徳川幕府を倒すため の見回りや消火活動の任務を担いま ていましたが、世の中が平和になる 日光勤番では、交代して日光山内 日光は焼かれ 日光

して責任を全うしました。

現在、

追分町交差点近く

▼千人頭石坂弥次右衛門義礼ら

(石坂圭司氏所蔵)

となってしまいました。 病気で多くの犠牲者が出て、 いたりしました。しかし、厳しい寒さや けて出発し、耕作したり、道路を切り開 がりました。彼は同心子弟を連れて勇払 するために千人頭の原半左衛門が立ち上 てくるようになった蝦夷地を守り、 (現苫小牧市)や白糠(現白糠町)に向 また、江戸時代後半、ロシア船がやつ 数年で中止

73 日光市と姉妹都市の盟約を結んでいま こうした縁もあって、 (昭和48) 年に苫小牧市、 八王子市は19 翌年には

えました。 『桑都日記』も著しています。 ども多く、 同心たちの中には医師や文人、思想家な 子をまとめた『新編武蔵風土記稿』編纂 以降、千人同心は武術の稽古だけでな にかかわり、 く、文化活動でも多くの足跡を残して 幕府が武芸を奨励した江戸時代中期 組頭の塩野適斎は、当時の村の様 地域の文化に大きな影響を与 千人同心の歴史をまとめた そのほか



千人同心屋敷跡碑

ずに済みました。しかし、

八王子に

戻るとこれを責められ、

石坂は切腹

▶塩野適斎(極楽寺所蔵)



の市民団体紹介

応援します 市民力。

市内で活躍する元気な団体・サークル・同好会を紹介するコーナーです。 活動内容やイベント情報など、編集部までお知らせください。

◆問い合わせ先:646-1626

えています。

現在は11名の理事

です。

こうした思い

をも

う個 い思 何

岐

わ

たる会の運営を担

名弱の会員が活動を支えてい

全体のさらなる活性化を目指して

できる場を用意することで、

団体とつながりをもつことの

団体など含めて20

E-mail kyougi@shiminkatudo-hachioji.jp URL https://www.shiminkatudo-hachioji.com/

ります。

その根底にあるのは

という個々人の強

んでするからこそ、

持続可能な活

岡崎さんは「自分のために楽

ができると思うんです」

とも語

どの支援を行う団体として設立さ 個人を対象に、 団体の代表者が意見交換会を行っ きました。 にかかわるあらゆる分野の団体や 時期でした。市内で社会貢献活動 どNPO法ができたときで、 しても市民協働に力を入れていた 、PO法人格をもっている二十数 20年にわたって活動を続けて 八王子市民活動協議 相互連携や運営な 当時はちょう 市と

運営や、地域に根差した活動をし 市民活動支援センター」 ちおうじ志民塾」の運営といっ いという市民のための講座 主な活動は、 !の活発な市民活動を幅広く支 市からの委託事業、 「議会だより」 「域デビューパーティー」 また、 独自事業も展開してい 情報提供のために 八王子 を発行し、 市 さらに 設置 0 市 ま な

▲はちおうじ志民塾での研修のようす

長の岡崎理香さん。 もしたい」と意気込むのは、 多彩な形で市民活動の魅力を伝 サポートに主眼を置いて活動をし てきたそうですが、「今後はより 会は地域で活動する市民団 さらに踏み込んだ新たな支援

79,000用

心よりお礼申し上げます。 引き続きよろしくお願いします。

はちとぴ32号にて「はちとぴサポーターの会」を立ち上げ、読者の皆さまに広 くご寄付をお願いしました。その結果、非常に多くの方々より温かいご支援を 賜りました。厚く御礼申し上げますとともに、上記の通り会計報告いたします。 賜りました浄財をもとに今後とも魅力的な誌面づくりに努めます。



振込先 【はちとぴサポーターの会】

ゆうちょ銀行 □座番号 00110-4-0514170 ※お問い合わせは【揺籃社→☎042-620-2615】

□ 1,000円 随時受付

※年1回、誌上にて会計報告します ※収集した個人情報は無断使用いた しません

はちとぴサポーター特典! ご寄付いただいた方には自宅まで郵送します

王子の民俗誌 16

きさは大人の身長ほどあり、

台座を含

直入院の石造五智如来立像

阿閦・宝生・阿弥陀・不空成就の五如 面を表わした金剛界の五仏は、大日・ のを五智如来という。大日如来の知の を五智といい、それに五仏を配したも 音の五如来を一般的にいう。 日・宝幢・開敷華王・無量寿・天鼓雷 来で、理の面を表わした胎蔵界では大 大日如来がもっている5種類の智慧

生・阿閦・大日・阿弥陀・釈迦(不空 形民俗文化財で、 成就如来と同体と考えられる)の五如 直入院の五智如来は八王子市指定有 大日・阿弥陀・釈迦の三仏は、 向かって左から宝

町の石屋源兵衛の作である。 町」の各宿の名と小門の石原氏と土屋 氏の名がある。五仏とも江戸市ヶ谷田 や京橋の人と「八木宿町・八幡宿町・ 願主に加わり、1691 (元禄4) 年 号が刻まれている。阿閦・宝生の二仏 八王子宿の有力者のものと思われる法 名も見える。阿弥陀と釈迦の台座に 婦で、また男性の名に交じって女性の れている。姓名の次に同内儀として夫 願主となり、江戸や八王子の人々から 八日市町・横山町・新丁・裏宿丁・横 につくられた。その台座には江戸四谷 は、竹本氏(八王子代官家か)はじめ と、江戸や八王子の寄進者の名が刻ま 大日如来の台座には願主の欣誉廣厭 先人の供養のために造立した。中央の 浄財を集め、1680 (延宝8) 年に (小門町)蓮生院の僧、 僧の欣誉廣厭に横山宿の神保氏が 欣誉廣厭が

> ら廣厭坊横丁と呼ばれていたという。 られ、「とうもろこし祭り」が開かれ 日の縁日には露店でとうもろこしが売 もろこし地蔵」ともいわれた。8月10 た。蓮生院があった通りは、僧の名か 五智如来に関係する蓮生院・直入院 この五智如来は「五人地蔵」「とつ

めた高さは3メートル近い。

帰西寺と合併して五智如来とともに帰 と合併し、直入院は小門町から現在の 20) 年の空襲で全焼した。 蓮生院は 山町)の各寺院は、 緑町に移転した。五智如来は緑町の直 人院境内にある。 西寺に移転。その後、帰西寺が直入院 (いずれも元は小門町)、帰西寺(元横 1945 (昭和

声と糞害で悩まされている。

も大変重要なものである。 石造遺物として優れた貴重な作品であ しまれてきた五智如来は、江戸時代の 2つの別称を持ち、多くの人々に親 また初期の八王子宿の史料として



▲直入院の石造五智如来立像

日野カワセミ会 和夫

と大きく綺麗な声で鳴いている。 イソヒヨドリは八王子市民にとって

甲州街道沿いを歩く

2キロメートルの甲州街道沿いに22巣 あったことが記載されている。 年にJR八王子駅入口から追分まで約 時は両側にアーケードが整備されてい し、今この場所に巣は一つもない。当 川の野鳥』には、1986(昭和6) カワセミ会が刊行した『数え上げた浅 メである。1996年に八王子・日野 一方で最近減ってしまったのがツバ 昭和時代の面影の濃い商店街で

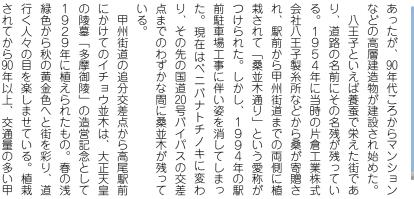
りしている光景だ。最近はムクドリの もるころ、ビルの屋上からまるで雪の くなるので、地元では鳥の大きな鳴き る。特に秋から冬は集団の規模が大き 集団で夜のねぐらをつくる習性があ 夜を明かしている。この2種の野鳥は くる。ハクセキレイの集団がねぐら入 ように白いものが次から次へと降って れ、八王子オクトーレの窓枠などで 大集団に街路樹のねぐら場を追い出さ JR八王子駅北口前、街灯に灯がと

▲イソヒヨドリ

子駅付近といった市街地に営巣地が多 枠で「ピュルピュルピピーポー」など 子駅付近、京王八王子駅付近、 らは繁殖も確認され、今ではJR八王 馴染みのうすい鳥かもしれない。この く見られる。駅周辺のビルの屋上や窓 なってきた。2009 (平成21) 年か が、最近は市内でも観察されるように ままでいなかったからである。ところ であり、八王子のような内陸地にはい 鳥は読んで字のごとく主に磯に棲む鳥 西八王

八王子といえば養蚕で栄えた街であ 道路の名前にその名残が残ってい 1994年の駅

州街道で今でも元気そうなイチョウの 大正天皇 渞



姿に驚かされる。

はこうして生まれた 其 の <u>五</u>

『見る! 聞く! 歩く! 高尾・浅川野鳥図鑑』 八王子・日野カワセミ会

会社や学校に向かう途中、 たことはありませんか? さらに実際の鳴き声や詳細な探鳥スポットも検索できるよう工夫されています。この図鑑を手に、 辺地域の野鳥を紹介する初のポケット図鑑として、初心者でも分かりやすいように写真を多用。 あなたのお住まいの近くで野鳥を見つけてみませんか? 休日の気ままな散策中、ふと目にしたあの鳥の名前は何だろうと思っ 本書はそんな疑問に分かりやすく答えてくれる1冊です。 高尾·浅川

ワセミ会は、八王

ました。会の目的 985年に発足し 民グループで、1 野鳥を観察する市 子市、日野市内の はバードウォッチ

> ことにあります。 記録すること、野鳥が安心し などの野鳥の生息状況を調査 て棲める環境作りに協力する ングを楽しむこと、浅川流域

八王子・日野カ

にして、解説文、写真、鳴き 野鳥を分かりやすく紹介でき 作成を企画しました。豊かな 域などで見られる野鳥図鑑の 事業として、高尾山や浅川流 るように考え、編集にあたり 鳥を観察できます。こうした す。また、高尾山や陣馬山を は多くの野鳥が生息していま 自然が保たれている高尾山に 水源とする浅川でも多くの野 このたび会の発足35年記念 35年の活動成果を基本 図鑑の作成にあたっ

八王子・日野カワセミ会 編

高尾·浅川

野鳥図鑑

見る!

声など全ての編集作業に会員 の総力を結集しました。

ドなどを使ってカワセミ会の 内図を見たりすることができ 鑑に付与されているQRコー け加えてあります。また、図 バードウォッチング情報も付 鳥スポット」の案内などの 所・鳴き声などを一目で分か 見られる主な野鳥100種を ホームページにアクセスする ための道しるべとして、「探 らに気軽に鳥を見に出かける るように記載しています。さ 厳選し、観察時期・生息場 本書では高尾・浅川地域で 主な野鳥の鳴き声を聞い 詳細な探鳥スポット案

> 図鑑」として利用していただ ので、今後も「成長し続ける ムページは随時情報を更新 くことができます。 し、内容を充実していきます

を期待します。 観察に出かけていただくこと まいの近くの公園などへ野鳥 高尾・浅川周辺地域や、お住 方に、特に野鳥観察初心者の いただけます。本書を手に、 方には入門書として活用して 野鳥に関心のあるすべての (編者記)

高尾・浅川野鳥図鑑』

※本書をお求めの際は、お近くの書 定価900円+税 新書判・76P・フルカラー 店か当誌編集部までどうぞ。 揺籃社刊

るように工夫しました。ホー

十

編



長屋的情感が溢れています。 た団地での自治会活動に至るまで、

丸いちゃぶ台を囲む仲良き家族に乾杯

その筆致には横のつながりが豊かだった昭和

がっています。

幼少期の懐かしい遊びやバイクに憧れた青年期、

本書は全体的にとても明るく、

元気をもらえる自分史に仕

著者の人柄が文 中学校を卒業し

結婚後に引っ越

勉強そっちのけで家

こうした塗炭の苦しみが綴られていながらも、

体から滲み出てきて、 てすぐに就職……。



梨県の境にある広大な土地を活用して、 身内の裏切りも絡みつつ、 読み応え抜群の 大規模土地開発プロジェクトの話が舞い込んできます。 アルバ社の 環境保護団体、 「挑戦」と オーナーであり、 伍代は難事業を何とかして前 業者、 「ミルフィ 新都市を開発しようという計画です。 だくか ライバル社との丁々 榊原産業の社外取締役でもある伍

謙のもとに、 ランドスケープ・

自治会、

が.....。

疾走感に包まれたビジネス小説の誕生です。

一の橋」

の2編からなる、

心地よ

へ進めようと試みます

発止を繰り返しなが

神奈川県と山

謀略の

平井 ★揺籃社 ★文庫判、 覺 · 発行 512ページ 著 300円+税

#

姓

※本書をお求めの際は、 当誌編集部までお問い合わせください。 お近くの書店でご注文い

※本書は私家版です。 著者をご紹介します。 158ページ (明備忘録 詳細は当誌編集部まで。

★私家版

非売品 著

西山典明・

西山典 ちゃ

い

ぶ

★A5判、

「富士森公園とその周辺」(仮)

八王子駅から西八王子駅の甲州街道沿いの「中心市街地」を取り上げた八王子 特集、いかがでしたでしょうか。次号では今回取り上げられなかった中央線の 南側、富士森公園を中心に付近の見て歩きコースをご提案します。市内最古 で、最も有名な公園にまつわるエピソードなどをご紹介。情報募集中!

第51号 (涼風号) は 5月1日発行予定



広告募集中!

「はちとぴ50号」は9,000部を 発行、右記の場所にて配布いた します。八王子市民にアピール したい商品やサービスの広告に ピッタリ。是非、協賛ください。

提携店募集中!

お客さんとのコミュニケーショ ンツールにしたり、待ち時間の 合間に雑誌感覚で読んでもらっ たりと、利用方法はさまざま。 「はちとぴ」を新サービスとし てご活用ください。

お問い合わせはこちら

揺籃社(清水工房内) はちとぴ編集部

八王子観光コンベンション協会 八王子商工会議所 八王子市郷土資料館 八王子市中央図書館 八王子市川口図書館 八王子市南大沢図書館 八王子市生涯学習センター図書館 八王子市絹の道資料館 八王子市役所産業振興部 八干子市役所スポーツ振興課 道の駅「八王子滝山」 サイエンスドーム八王子 八王子クリエイトホール 八王子市学園都市センター 八王子市市民活動支援センター 八王子市子ども家庭支援センター 八王子市芸術文化会館いちょうホール 八王子市教育センター 八王子市南大沢事務所 八王子市南大沢文化会館 八王子セミナーハウス 長池公園自然館 高尾山599ミュージアム 夕やけ小やけふれあいの里

市内各市民センター

お店・企業・学校

アート八王子 アクサ生命 有赤坂商店 御菓子司 吾妻寿し アメニティ -ライフ八王子 有荒物加島屋 小俣ダンススタジオ café de la poste cafe rin ギャラリー・スペースことのは 京晴(株) くまざわ書店 くまざわ書店京王八王子店 くまざわ書店西八王子店 ㈱クラブS保険サービス グループホームびおら 桑の実幼稚園 敬愛保育園 啓文堂高尾店 工学院大学 小谷野紙店 有 埼玉屋本店 坂福 坂本クリニック・坂本医院

「はちとぴ」の置いてあるところ JA八王子ふれあい市場 シミズパーク24 東京都立大学 スマイルこどもクリニック (株)スリーボンド せいがの森保育園

> セブンイレブン八王子北口店 創価大学 高尾の森わくわくビレッジ 拓殖大学 そば・うどん たましん散田店 玉川亭

多摩美術大学 中央大学 東京家政学院大学 東京工業高等専門学校 東京純心大学

東京造形大学 東京薬科大学 とみりえ 中野屋商店 有中村 白動車 (株)日住 ハーモニーネット はちねこ!カフェ

八王子エルシィ 八王子学園八王子高等学校 八王子中央自動車学校 八王子市役所売店「はっち」 八王子消化器病院

びおら (株)富士屋 ふもとや Coffee Bricks ベネック 法政大学 まつおか書房 松姫本店 **有峰尾豆腐店** みやま大樹の苑 山梨中央銀行八王子支店

(株)山六 有隣堂CELEO八王子店

その他団体など

サイバーシルクロード八王子 八王子法人会 八王子市医師会 八干子市職員等事業本部 八王子自治研究センタ・ 八王子センター元気 八王子いちょう祭り祭典委員会 墨のアトリエ墨童舎 はちとぴサポーターの会



はちどび<1月~4月>

1月 2月

17 18 19 20 21 22 20 21 22 23 24 25 🏰

8

²⁴/₃₁ 25 26 27 28 29 27 28

1 2 3 4 5

3月 4月 火 水 木

20 21 22 23 24 25 26

1 2 3 4 5 7 8 9 10 11 12 3 4 5 6 10 11 12 13 14 15 13 14 15 16 17 18 19 13 14 15 16 17 18 19 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

報

第35回香風会展 第38回学生書初展

9

3 4 5 6

故菅沼香風氏の門下生、同好者によって 組織された香風会が開く書道展。菅沼香 風氏の遺作も展示します。同時開催の学 生書道展とともに、ぜひご覧ください。

会場:八王子市学園都市センター(ギャラリーホール)

時間:10:00~18:30(初日は13:00~、最終日は15:30まで) 入場無料

香風会

☎090(7008)5580(菅沼)

6 7 8 9 10 11 12

八王子市在住の方などを対象にした隔年 開催の市民公募展。今回も専門の審査員 による入選作品選定後、来館者の投票で 各賞を決定します。中学生以下無料。

市民公募 夢美エンナーレ入選作品展

会場:八王子市夢美術館 時間:10:00~19:00(月曜休館) 料金:一般300円、学生(高校生以上)・65歳以上150円

八王子市夢美術館 **25** (621) 6777

(日)

(水)

魅せる八王子展 第5回

八王子の街並みやお寺などをテーマに、 写真を使って描いた絵をご覧ください。 展示を見て、あなたも描いてみません 写実を学んだ効果をご覧ください。 か?

会場:八王子中央図書館・地下展示室

時間:10:00~17:00(最終日16:00) 入場無料

「ティファレト・美」絵画クラブ

☎(691)9624(金子)

(水) (日)

「高尾山の花と戦国時代」写真展

『高尾山の花名さがし』出版から13年、『大久 保長安 家康を創った男!』出版を記念し て、八王子城、大久保長安関係の写真を展示。 戦国時代にタイムスリップしてみませんか!

会場:八王子中央図書館・地下展示室

時間:10:00~17:00(最終日16:00) 入場無料

高尾山の花名さがし隊 ☎090(6042)6263(遠藤)

花とゼロ戦

著者=玉利 勝範

原作=ジャネット・デルポート(カナダ在住)



念が 弾 界 人 Ó 女 n で な あ 主 性 は る 力 の 信 兵 (笑)。 旧 装 平 は 6 和 国 この兵器にも使わ n 平和」と言い 海 な 軍2 Ι 愛情 搭載·高 $\bar{0}$ 物 1 語 空 な 性能 で 神 あ ħ 風

る 5 て 特 無 華し , な若者達 か 攻 令 各 ځ る 人特 は考えて 戦 ぜ 和3年 の名の 国 敷 か? た当 日 て 後 とも 攻 島 本 の しは、 時 ド 隊 る 語 の 日 そう 開 , の o) 下 口 現 る。 本 未 優 発 بح に で か 1 だ 散 ŧ

四六判、108頁、ソフトカバー、1000円+税、揺籃社刊

広告募集

はちとぴでは協賛広告をお願いいただける 市内でご活躍の企業・お店を募集しております。 ぜひご協力をお願い申し上げます。

1頁 1/2頁 1/4頁 16ページ (裏表紙外) 120,000円 60.000円 30.000円 14ページ 1/2頁 1頁 1/4頁 15ページ (裏表紙内) 100,000円 50,000円 25,000円

掲載スペースは申し込み順といたしますので、大枠を ご希望のお客様は、お早めにお申し付けください。

本誌は、お客様発行のフリーペーパーとして ご利用いただけるシステムを考えております。 ご相談をお待ちしています。

お問い合わせ先 揺 驚 社 TEL.042-620-2615